

軟式野球

1. 期 日 令和元年6月5日(水) 6日(木) ※予備日7日、10日
2. 会 場 【試合会場】別府市民球場 (アップ会場) 実相寺球場、野口原球場A、B
3. 参加制限
 - (1) 学校単位で編成されたチームを原則とする。但し、単一校では出場最低人数に足りずチーム編成ができない場合、県中体連複数合同チーム編成規定によるチームの参加を認める。(要申請)
 - (2) チームの編成は、部長・コーチ2名以内、監督1名、選手20名とする。※コーチは学校長が認め、県中体連に外部コーチ登録をしている者
 - (3) 部長・監督は当該校の教職員または当該学校長の認めた部活動指導員とする。
4. 競技規則(平成31年度公認野球規則・競技者必携及び下記(1)～(20)の本大会特別規定により行う。)
 - (1) ベンチは組み合わせ番号の若いチームを一塁側ベンチとする。
 - (2) 試合は7回まで(ただし、5回終了時7点差は、全ての試合コールドゲームとする)とする。
 - (3) **7回終了時同点の場合、延長は9回まで行う。それでも決着がつかないときは特別延長戦を行う。**(特別延長戦は、継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁、三塁の走者は次前の走者とする。すなわち、無死満塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとし、決しない場合は繰り返す。)
 - (4) 暗黒、降雨などで試合が5回終了以前で中止になった場合は、ノーゲームとする。
 - (5) 使用球は公認ボールナガセケンコーM号とする。
 - (6) その他の用具は(財)全日本軟式野球連盟公認のものとする。
 - (7) 事故防止のため、打者・走者・次打者・ランナースコッチは両耳用ヘルメットを着用する。捕手はスロートガード付きマスク・捕手用ヘルメット・レガース・プロテクター・ファールカップを使用すること。投手の投球練習の際もマスク、ヘルメットを着用すること。また、攻守交代時の代理捕手も正捕手に準じる用具を装備して捕球することが望ましい。
 - (8) カラーソックス、ハイカットのストッキングは禁止する。ストッキングはローやミドルが混在しないこと。
 - (9) 手袋は白か黒の単一色及び両手同色とし、完全無地でメーカー名も同色とする。
 - (10) メガホンの使用は監督のみとする。
 - (11) マスコットバットの使用は認めるが、バットリング、リストバンドの使用は禁止する。
 - (12) 監督・部長・コーチは、生徒と同一ユニフォームを着用(スパイク又は選手と同色のアップシューズを着用のこと)し、監督は「30」部長・コーチは「29」「28」の背番号をつけること。但し、ノックを行わない部長・コーチは平服(選手と同じ帽子、白シャツにネクタイ。またはそれに準ずるポロシャツ等)を着用すること。
 - (13) 審判への抗議(アピール)は、監督・主将と当該プレーヤーとする。
 - (14) 攻撃・守備時のタイムの回数はそれぞれ7イニングで3回、延長戦で2回、特別延長戦で1イニング1回以内とする。(守備側のタイムについては、バッテリー、監督がとったタイムも含まれる) 守備側のタイム時に攻撃側は指示を与えることはできるが、守備側のタイムより長引けば、攻撃側のタイムとしてみなされる。(攻撃側のタイム時の守備側の指示も同様とする。)
 - (15) 監督または部長・コーチが、投手のところへ同一イニングに同一投手へ2度目に行った場合(伝令、捕手または他の野手に指示をして投手のところへ行かせた場合も含む)は、投手は自動的に交代しなければならない。(他の守備位置につくことは許される)つまり、監督の同一イニング2回のタイムは投手交代とする。投手のワンポイントの起用は認められない(※野手は可)。
 - (16) シートノックは準決勝のみ、後攻から始める。時間は5分間。残り1分前にコールする。ノック中、相手チームはベンチ内で待機する。但し、先発バッテリーは投球練習をすることができる。
 - (17) 第1試合のメンバー用紙交換および攻守決定は、開始予定時刻の40分前とし、その他の試合は原則前試合の4回終了時点とする。監督と主将はメンバー表4部を持参すること。なお、フィールド内のブルペンは4回終了後から使用できる。
 - (18) 連続試合は原則40分間の休憩をとる。但し、両校の合意があれば休憩時間を短縮しても構わない。
 - (19) 用具チェック・容姿チェックを2日間行う。(時間は本部の指示に従うこと、決勝は実施しない)
 - (20) **投手の投球制限はない。**

5. 競技方法

トーナメント方式で行う。

***県連会長杯優勝兼全日本少年軟式野球大会大分県大会推薦出場の明豊中学校を第一シード**

***別府市長旗杯兼全日本少年軟式野球大会支部予選優勝チームの鶴見台中学校を第二シード**

6. 備 考

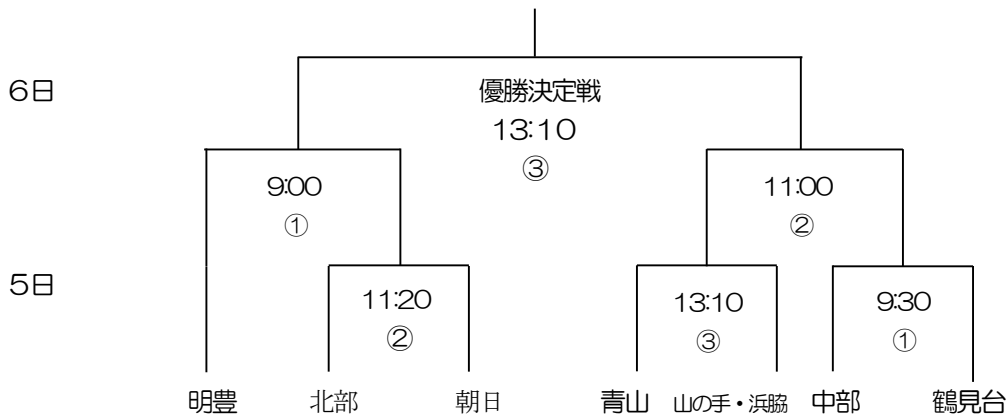
- 優勝・準優勝チームに県大会出場資格を与える。
- 競技時間短縮のため、下記の事項を厳守すること。
 - ・攻守の交代は迅速に行い、全力疾走すること。
 - ・先頭打者とランナーコーチは円陣に入らず速やかに所定の位置に着く。
 - ・投手は捕手のサインを受けて、速やかに投球すること。
 - ・捕手が走者で攻撃を終了した場合は、代理捕手が速やかに出て投手の投球を受ける。
 - ・監督と打者のサイン交換は速やかに行うこと。打者はバッターボックスを外さない。
 - ・ファールボールは両チームで取りに行こと。
- 応援については、次の事項を守り、各チームの監督が責任を持って指導すること。
 - ・中学生らしい応援を心がける。暴言等は退場もありうる。
 - ・鳴り物は自チームの攻撃時のみとする。
 - ・応援者は審判のジャッジにクレームをつけたり、出場選手に必要以上の声かけをしたりしないこと。
 - ・各校の団旗は、競技の妨げになる恐れがあるので、『ネットの内側』からつけること。
- 身なりは学生スポーツの場であることを忘れずに参加すること。（帽子の被り方・ユニフォームの着方、染髪、眉そり等は禁止）違反者は出場停止とすることもありうる。
- ラフプレーに対しては指導を行う（退場処分も含める）。
- ベンチ使用の際には、試合終了時に必ず整理整頓をすること。（最終試合のチームは清掃を行う）
- スコアボード係（2名）、茶・おしぼり係（3名）を各校で話し合いの上、準備すること。尚、茶は本部にて準備する（4回終了時に審判に渡す）。ポールボーイは双方で出すこと。
- 監督会議を行う。
 - ・競技実施にあたり、監督会議を行う。時間・場所については下記のとおりとする。

6月5日（水） 午前6時15分 於：実相寺球場

7. 試合日程及び組み合わせ

○**初日開会式あり 9：00～**（1試合目の2校は8：50集合） 於：別府市民球場

○初日は1回戦のみ、2日目は準決勝と決勝を行う。



※白囲み数字はその日の試合順

	第1試合	第2試合	第3試合
本部のお世話	青山、山の手・浜脇	明豊・第1試合の勝者	第2試合の勝者・第1試合の敗者

◆開会式（9：00～ 別府市民球場）

- 開会式** 進行（熊田）
- ① 始めのことば（山村）
 - ② 校長先生のお話（明豊中校長）
 - ③ 選手宣誓（鶴見台中主将）
 - ④ 審判諸注意
 - ⑤ 終わりのことば（山村）

◆閉会式（15：00～ 別府市民球場）

- 閉会式** 進行（熊田）
- ① 始めのことば（ ）
 - ② 成績発表（ ）
 - ③ 優勝旗・準優勝トロフィー授与
 - ④ 講評（明豊中校長）
 - ⑤ 終わりのことば（ ）